

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	長崎国際大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	ナガサキコクサイダイガク
	大学等名2(連携大学等)	
	科目名	インターンシップA、インターンシップB、長期インターンシップ
	学部・研究科等名	人間社会学部・国際観光学科
	担当教職員名・役職	三浦知子・准教授岳村香苗・教務課員
	受講者数(H28年度実績)※インターンシップ参加者数	52
	受入企業等数	13
	受入企業等名	ハウステンボス株式会社、JR九州ハウステンボスホテル株式会社、佐世保市観光商工部観光課、平戸市文化観光部観光課、道の駅(さいかい)、公益財団法人佐世保地域文化事業財団、株式会社JTB九州佐世保支店、株式会社近畿日本ツーリスト、沖縄ツーリスト株式会社、株式会社ヒューマングループ、株式会社ウォーターマークホテル佐世保、大連華信技術交流センター、株式会社JALスカイ九州、有限会社シュシュ、いむら体育教室、中央地区総合型地域スポーツクラブWillDo等
	インターンシップの分類	1.長期(概ね1か月以上)インターンシップ、2.有給インターンシップ、3.海外インターンシップ、5.低学年(大学1年次～2年次程度)からのインターンシップ、7.中小企業でのインターンシップ、8.地元企業・経済団体や地方公共団体等との協働による地域密着型のインターンシップ
上記以外のインターンシップの分類(記述欄)		
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事
	1-2.以外での就業体験の内容(記述欄)	
	1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	長期インターンシップは、国内の就業先はハウステンボスとホテルオークラJRハウステンボスの2箇所で開催しており、GWと夏休み期間、あるいは年末年始と春休み期間に有給で実施している。海外インターンシップは後期の5ヶ月間で、具体的にはニュージーランドのホテルでの勤務を有給で行っている。インターンシップは学科のコースに連動した関連企業や団体で実施し、10日間無給で勤務し2単位が付与される。
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	3.当該インターンシップは、専門教育科目として実施している。5.当該インターンシップは、選択必修科目として実施している。6.当該インターンシップは、選択科目として実施している。7.当該インターンシップは、授業期間中に実施している。8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している
	2-2.以外で実施しているインターンシップの内容(記述欄)	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次(記述欄)	2年次～4年次
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数(記述欄)	2単位、14単位
	2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	インターンシップA・Bは隔年開講し、事前学習と就業体験、事後学習と報告会の実施で2単位が付与される。インターンシップ先には海外も含まれる。長期インターンシップはGWと夏休み期間で8単位、年末年始と春休み期間で6単位、前期後期の通しで14単位が付与される。海外インターンシップは就業時間によるが10～14単位が付与される。
要素③	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法を身に付ける授業等を行っている。2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている。3.学生に対して、インターンシップにおける成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている。4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.以外で実施している事前学習の内容(記述欄)	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている。2.報告会等により、インターンシップの成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている。3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている
	3-2-2.以外で実施している事後学習の内容(記述欄)	
	3-2-3.該当するモニタリング	1.インターンシップ中に、教職員が定期的に企業等に赴き、学生と面談を実施している。2.インターンシップ中に、学生が定期的に大学等において教職員と面談を実施している
	3-2-3.以外で実施しているモニタリングの内容(記述欄)	
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄)	長期インターンシップについては、事前学習として、配属先の希望調査及びインターンシップの目標設定を行い、参加者相互に発表させている。社会人基礎力に関するアンケートを作成し、事前事後に調査を行っている。インターンシップA・Bについては、就業先によって業務内容や担当教員が異なるため、ビジネスマナーを学ぶ講義を共通で行い、その他の事前学習や実習先への挨拶等は担当教員が個別に行っている。

	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄)	長期インターンシップについては、事後学習として、お礼状の作成とインターンシップの記録を確認し、全体を通しての成果をまとめて、参加者相互に発表させている。事後学習の中で発表用のスライドを作成させ、成果報告会を行っている。インターンシップA・Bについては、事後学習としてお礼状の作成や研修ノートに対する個別指導を担当教員が行い、全体の成果報告会を行っている。
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細(記述欄)	長期インターンシップについては、人事の担当者と担当教員が学生の配属や勤務状況等について、問題があればその都度協議し解決している。実習期間中に数回の実習先訪問を行い、学生や実習先担当者との面談を実施している。海外インターンシップについては、メールや電話等で相手先の担当者と連絡を取り、モニタリングを行っている。インターンシップA・Bについては10日間の実習期間の中で担当教員が巡回を行い、学生と担当者との面談を行っている。
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている
	4-2.以外で実施している教育的効果を測定する仕組み(記述欄)	
	4-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	社会人基礎力調査を作成し、事前事後にアンケートを行っている。実習期間中は日々の記録を取り、実習内容を把握している。長期インターンシップについては2つのフェーズごとにふりかえりを行っている。インターンシップA・Bについては研修ノートに記録し、実習先の担当者のコメントをもらっている。実習後は、実習先によっては同業他社の業務内容について比較分析を行っている。
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄)	10日間以上
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.以外の実施期間の内容(記述欄)	
	5-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	長期インターンシップについては、長期間にわたるため病気等の欠勤も勘案し、事前学習、事後学習の時間をできるだけ取り、毎日の勤務時間を正確に報告してもらい、実習時間を計算の上単位を付与している。インターンシップA・Bについては、実習先に10日間(1日7.5時間相当)の時間を確保してもらい実施している。
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	1.企業や産業界にとっての意義やメリット、必要な成果等を考慮し、企業と協働してインターンシッププログラムを設計している。4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している
	6-2.以外で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄)	
	6-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	長期インターンシップ、インターンシップA・Bともに、学生の評価を実習先も行い、全体の60%の評価としている。実習先によっては前年度の課題等を事前に打ち合わせ、実習内容の改善をはかっている。
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	http://www.niu.ac.jp
問い合わせ先	大学等名	長崎国際大学
	担当部署名	教務課
	担当者役職名	教務課員
	担当者氏名	岳村香苗
	電話番号	0956-39-2020
	メールアドレス	kyomu@niu.ac.jp